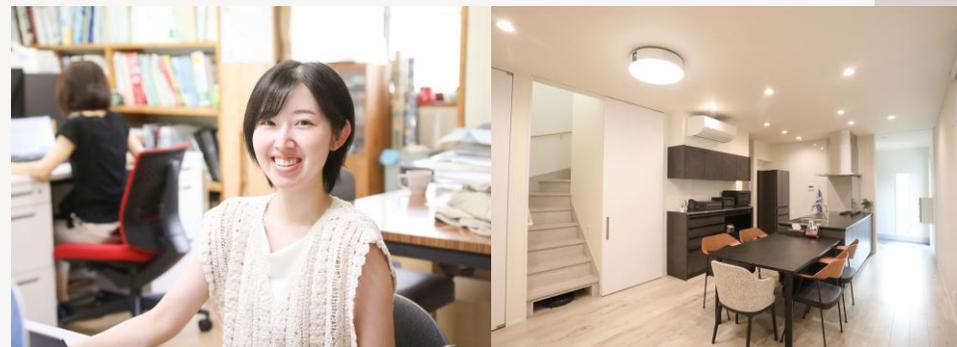


株式会社田内工務店

専門技術の承継と、技術の有効活用や業務の効率化のためのIT人材育成を目指す

③デジタル化・デジタルツール導入活用 ⑥伝統/専門技術承継

田内工務店は松本市を拠点に地域密着で住まいづくりを行っています。新築住宅やリフォーム、公共工事まで幅広く対応しています。通気断熱WB工法を採用し、健康で快適に長く安心して暮らせる住まいをご提案していて、設計から施工、アフターフォローまで一貫して行い、お客様に寄り添った家づくりを大切にしています。地域に信頼される工務店として、誠実なもののづくりを続けています。



- 課題
- ✓ 現場職人のスキルやノウハウが属人化しており、「全社的な知識」に転換する必要がある
 - ✓ スキル伝達のためのノウハウやマニュアルが不十分であり、知識の伝達がOJTによる「その場で伝達」に偏りがあり、改善が求められている
 - ✓ 自社製品の魅力アピール含めた営業力が不足しているため、営業分野の強化が必要である
 - ✓ ITをはじめとしたDXに関する(建築業専門のツール含む)知見、AIへの理解が不足しており、業務の効率化を進めるために導入を検討する必要がある

取組み
目標

- ✓ 住宅建設知識を有する(職人知識を共有できる、また専門的知識を持って営業に当たれる)バックオフィス人材の育成
- ✓ DXツールやAI対応も含めたIT対応ができる人材を育成する

人材育成
計画

1. 住宅建設専門知識の底上げと「伝える」ことへの認識を深める

- 手が付けやすい動画チャンネルの閲覧で住宅建設業についての関連動画を閲覧し知識の底上げを図る
- 上記の見るべき動画や回数を管理部長より提示するほか、社員からも「見た方がよい」「ためになった」動画を募りリスト化する
- 「伝える」こと自体のノウハウ化や課題感の相互認識を高めるため、若手やバックオフィスに対して社内職人による講習会を実施する
- 外部講師の招聘により専門的な知識の底上げを図ると共に「中と外との違い」を知る (社内講習を含めてワンシーズン(おおよそ四半期)に2回目標)

2. IT・AIツールの理解、利用と実践適用

- 動画チャンネルの閲覧で住宅建設業についての関連動画を閲覧し知識の底上げを図る。
- 上記の見るべき動画や回数は管理部長より提示するほか、各職員から「見た方がよい」「ためになった」動画を募りリスト化する
- テーマを絞って基礎的な知識の認証資格取得を推奨する
- ツールを「使える」人材育成・利用定着のために、生成AIツールを用いた文章作成をマニュアル化する
- スプレッドシートでのマクロツールおよびRPAを、年間2個を目標として社内で作成する

計画実行
に向けて

当社は、技術力だけでなく人間力を兼ね備えた人材の育成を重要な経営課題と位置づけております。地域に根ざす工務店として、お客様に信頼され続けるためには、社員一人ひとりの成長が不可欠だと考えております。今後は、計画的な研修やOJTの充実、資格取得支援を通じて、専門性の向上と現場対応力の強化を図ってまいります。また、若手からベテランまで互いに学び合える環境を整え、組織全体の底上げを目指し、人材育成を通じて、企業としての持続的な発展と地域へのさらなる貢献を実現してまいります。